

今月の一笑

替え歌百人一首 火砕流を見て詠む
怒りける普賢火砕流山おろし
はげしかれとは祈らぬものを
(東京都/奥村年寄篤史朝臣)

新しい年です。

『伝笑鳩』には今年も皆様のお住まいへ飛んで行って貰おうと思っています。

可愛がって下さい。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、先月は『今月の一笑 年間賞』投票用紙を同封致しました所、多数のご返事を頂きまして、有り難うございました。

投票結果の発表は3頁に掲載致しましてしておりますので、後ほど、ご覧下さい。

それでは、まずは多数頂きましたお手紙を真面目に紹介させていただきます。(敬称略)

仙台市/藤沢浪子

庭のカラ松にかけた巣箱は、一度四十雀(しじゅうから)が巣づくりしてからもう五・六年始終カラです。さて、今年は庭木に雉鳩が二度巣づくりし、同じ巣を使って、一度目はヒナが一羽、二度目は二羽とも無事ヒナになり巣立ちました。・
・大きな顔をして、私は同巢会通信といたします。

山下広藏氏のパセリの歌「天国からの贈り物」を読んで、今度は私がウットリしてしまいました。素晴らしいですね。お会いしたかったですね。ほんとうに。

名古屋市/水野輝義

いつも楽しい伝笑鳩有り難うございます。よい年越しをして下さい。その内作品を送れるように、参加させていただきたく存じます。

伊勢原市/佐藤浩治

是非一度は会に出席させて頂きたいと存じて居りながら申し訳ございません。送って頂いて居ります会の皆様のご活躍うれしく存じます。今後共よろしく願いいたします。

逗子市/大鳥羽幸太郎

会も新人の方の参加が多く活況を呈しておられることは、野本様を始め、ご協力の方々のリーダーシップによるものと敬意を表しております。新しい会場は私が昔五ヶ年程居りました鎌倉河岸ビルの向かい。何とか出席してご無沙汰をお詫びしたい気持ちでいつも居ります。

(二伸) 仕事の成果 = (能力) × (やる気)² × (心の持ち方)

伝笑鳩に載せて頂く作品を作るのもこの計算式の通り。但し、泥棒の成果は(心の持ち方)が- (マイナス) のもの。

神戸市/山本敏雄

この度、小生の潜在能力をけんざい化しようと建材メーカーへトラバークしました。ジョークの方もけんざいです。

まだまだ沢山来ています。引き続き真面目に紹介させていただきます。

富山市／石黒徹 伝笑鳩12月号確かに落手。毎月ご苦勞のうちに、今年もジ・エンド。年間賞掲載作品の質は今一つのものばかりで、それに、脱字etc. ありでは…?

「自分で作って出しもせずにケチつけての返送!ヘン!そうかい、富山の山猿め(残念でした!私はねずみ歳生まれ)」なんて、怒らないでくださいね。で、罪滅ぼしに茶菓代の足しを送ります。(変集鳥注。投票用紙に不備があるまま郵送しました。お詫び申し上げます。)

東京都／西井正 よくもまあ(毎月)ユニークな“変集”が出来るものと感心しております。小生は最近業務多忙にてご返答が出来ませんが、そのうち頑張りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

高石市／芝原健夫 伝笑鳩12月号をいただきました。作品ご掲載下さり、厚く御礼申し上げます。笑学校も最近は学生たちの元気が目立ち、考長はあまり好調ではないのですが、授業は順調に行っています。伝笑鳩も全国ネットになりましたね。内容充実で楽しみです。変集まことにご苦勞様です。

愛知県南設楽郡／小西祥二 なかなか『伝笑鳩』に投稿するようなジョークができません。まして、例会への参加などは、遠方にて無理で、いつもいつも読ませて貰うばかりです。ですから、“来年こそは”と今から鬼と仲良しになって、考えています。豆を投げつけられる前頃には、なんとか『伝笑鳩』に載せて貰えるような作品でも考えたいと思っています。

東京都目黒区／亀山光昭 今度こそ出よう出ようと思ううち、12月になってしまいました。9月21日付(注。朝日新聞夕刊WE経済コーナー)で野本さんのお顔もわかり、安心(?)しましたので、来年(注。1992年)は是非でよいと思います。今月の一笑の件、甲乙つけ難く(特に後半)迷いましたが、8、9、11月と致しました。いざ机に向かっても、出るものはジョークならぬタメ息ばかりで、そのうちトイレや風呂の中で思いついたらすぐ書き留めておきます。よいお年を。

東京都練馬区／山下貞子 昨日は、早速「パセリの歌」の載った伝笑鳩12月号をお送り下さり有り難うございました。丁度三回忌の時タイムリーだったかなと思っています。西部池袋線の駅名をジョークで綴ったのなども出て参りました。・・・「夫唱婦随」と申しますのに、私は「不肖不随」というよりも、「不精不粹」で申し訳なく思っています。・・・取り急ぎ御礼を申し上げます。

市川市／印南博之 当日(注。11月27日の忘年会)は出張で出席できません。欠席届替わりに新聞の「だじゃれ見出し」をお送りしますので、回覧でもして頂ければ幸いです。又、来年出席できる日を楽しみにしております。(手紙と共に切手も頂いております。ありがとうございます)

決定 1991年の一笑

年間賞

11月
千葉市／石井志津夫

「おじいさんとおばさんが」今昔
昔—あるところに
今—ところどころに
先—いたるところに [高齢化急ピッチ]

多数の応募の中、断トツで一位の栄誉を獲得しましたのは、昨年3月から例会に参加のメッセ貝こと石井志津夫さんの作品です。最近の世相にマッチした内容を真面目に鋭く捉えたことが多数の方の共感を得たようです。

この作品を、読者のひとりである読売新聞の斉藤さんが知人・友人に披露して、かなり好評でしたという話も聞いています。

おめでとうございます。

2位から4位は接戦でしたが、

2位 12月堀江勲

「競艶」
丸裸—喜一
真っ裸—りえ

3位 8月門口泰宣

新作映画紹介
ホーム・あー・ローン

4位 4月神山徹

新聞の不用品交換の欄に(ください)
とあって グランドピアノ と書いて
あった。こんなのが載るのなら、私も
出したい。ベンツとかセスナとか。
良いのかなあ。

2位になりました堀江勲さんの作品は、読者のひとりである日経新聞論説委員の片野さんが、『春秋』(12月5日付)で引用したのですが、お気づきになりましたでしょうか?
微妙なニュアンスの違いがあるようなないような所が受けたようです。

3位の門口泰宣さんは6月の例会に初参加でしたが、その後の活躍は目ざましく、週刊誌や新聞には何度となく投稿が掲載されています。替え歌や映画の題洒落で意気盛んという状況です。門口さんに刺激されて題洒落に挑戦した方もいましたので、有りがたかったですね。

4位には古参メンバーのひとりである神山徹さんの『如是我聞』からの作品が入りました。身の回りの話題だったり、政治・経済の話題だったりして「ナルホド～」とついついいうなづくことが多いのですが、今回の作品にも共感を呼ぶ部分がありました。

昨年と比べて今年はレベルが上がったという声も聞こえてきますが、今後とも皆で楽しみつつジョークサロンの発展を期して精進して行きましょう。

1992年の一笑を目指した作品を送って下さい。お待ち申し上げております。

長井敏流くじ引きプレゼント

11月27日の忘年会におきましては、幹事の長井敏・横山朝夫・小田明子トリオにより会場探しから始まり、くじ引きプレゼントそして全員参加のゲームに至るまで大いに盛り上がりました。当日のアトラクションを参考にご披露させていただきます。

長井敏さんは苦心の作を披露したのですが、それは各自にくじを引かせて賞品（小品、商品、笑品）を授与しまして、ナゾ解きを遊ぶという趣向でした。

では、当日の全賞品のリストを以下に笑介させていただきます。

（賞品）とかけて	〇〇と解く	その心は
馬肉の缶詰	イヤンという女性	バックーン
密封容器	団地妻の夜のうめき	外に・・・（洩れないように）
ゴマ3粒	長いおべっか	ゴマスリー
薄いパンティー	どけちが切った羊羹	すけて見えます
かまぼこ	その道十年のベテラン	やることなすこと全て板に付いてる
頭痛薬	我が家のやりくり	頭が痛い
愛してマスカット	結婚三年目	まだ愛していますか
ペアのハンカチ	あの夜のモテルの秘め事	二人の胸にしまっておこう
うがい薬	長良川	うかい（うがい）です
ハイライト	写真を撮るには暗すぎる	ハイ、ライト
爪楊枝	カアちゃんトイレで	妻用事
ワンカップ酒	単身赴任	人肌が良い
手袋	私は非処女	すんなり
ローソク	素敵な素敵なベッドシーン	あたしとろけそう
懐中電灯	家のカアちゃん洗濯好きよ	夜の夜中に
オーデコロンの空瓶	番町皿屋敷	カランコローン
殺虫剤	キザな野郎	ムシが好かない
精力剤	春闘	賃上げ
胃薬痔薬	愚痴も言わずに女房の小春	つくる笑顔がイジらしい
十円玉数個	袖すり合うも	多少の円
トウガラシ	赤とんぼ	羽根をとったらトウガラシ
切手	ヤクザの喧嘩	きったはった
タケヤ味噌	プレイボーイの・・・	一味違います

普段は掲載しなかった様なものもありますが、忘年会に免じて許して貰いましょう。しかしながら、下ネタのジョークは結構受けますから止むを得ませんね。今後は上品なお色気の漂う作品等も出て来ることを期待したいと思います。

引き続きお便りをもう少しご紹介させていただきます。

大和市／阿部久次郎 短日に寒気いよいよ募ってまいりました。毎月の伝笑鳩の飛来を楽しみに致しております。皆様が作られたジョークの数々を、只々感心して読むばかりです。11月号の嫌臭亭小利幸さんの美朗（尾籠）なお話の屁（ハ）んな日本語一屁理屈を一部拝借、お昼休みにみんなの脳をもみほごしました。

“洋の東西を問わず、女性は年令に関係なく占いごとを好むらしい”吾が老妻がおもむろに指差す雑誌の「今月のあなたの運勢」に曰く、

2月（妻の生まれ月）怒ると損。頭にきたら3回深呼吸、騙されても相手を責めるな。寛容さが災いを福に変ずる月

4月（吾が生まれ月）瓢箪から駒の大幸運に恵まれる月。動物的カンを大切に、年の開いた異性に縁あり。すべて大胆に行動、成就高い。『ほんとですか？』

妻、横目で吾が顔を覗く。短夜のひとときです……

同巢会ジョークサロンの益々のご発展をお祈り致します。

甲府市／市川きよみ 初寒波。（切手+茶菓代、有りがたく頂戴しました）

大阪市阿倍野区／松川清 毎号たのしく拝読しております。92年分の切手お届け申し上げます。……師走新春ご多忙のなかご自愛下さい。

横浜市／曾根一壽 先日は11月の伝笑鳩ありがとうございました。今月（11月）いっばいで静岡に戻るため、その準備とその他の用事で多忙の日を…というところ
です。それでは又、お元気で

（曾根さん引越しだと寂しくなまりすね。ソーネ。失礼しました）

八尾市／飯田祐子 （今月の一笑年間賞投票用紙と切手）

朝日新聞ウィークエンド 先日は和気あいあいと楽しい会合にご招待いただき、ありがとうございました。力作の発表と連発されるアドリブのジョークに、時間が経つのも忘れる思いで過ごさせていただきました。

さて、先日お願いしました『伝笑鳩』郵送の件、同封の切手にて、あらためて申し込ませていただきます。掲載された秀作の数々に、「ビジネスジョークの応募が不作のときに使わせてもらえないか」と不埒な考えが浮かぶのを隠し切れませんが、それはさておき、我がウィークエンド経済編集部一同のユーモア鍛練のお手本にさせてもらえれば、と存じております。

皆様からのお手紙は、出来る限り紹介致しますので、切手を送付する折りや投稿の折りは近況報告も忘れずにお書き添え下さいますようお願い申し上げます。

—— 11月忘年会参加 —— 11月27日実施 ——

飯田哲雄・今田幸伸・岩城元・石井志津夫・奥村篤史・小田明子・神山徹・後藤嘉朗
小林邦子・庄田智子・曾田英夫・長井敏・野本浩一・平井幸雄・平田レイ子・堀江勲
門口泰宣・山田ちづ子・横山朝夫 *下線の方は初参加
#今田さんは朝日新聞ウィークエンド経済のビジネスジョーク欄の担当です。

今回は特別編集紙面の都合にて例会作品笑介は各人の神髓のみを伝える作に厳選しました。

奥村篤史 替え歌百人一首から。下の句拝借の作品と今年の話織り込み作からです。

「風をいたみ岩うつ波のおのれのみ、砕けてものを思う頃かな」から下の句拝借
⇒『総理選、意はうつ気ある海部の身、砕けてものを思う頃かな』
「大江山いく野の道の遠ければ、まだふみも見ず天の橋立」から、和平を祈りて
⇒『朝鮮の統一の道遠かれど、まず踏みいだす国連加盟』

石井志津夫 英語練達の宮沢さんが渡辺、三塚さんに囁いたそうだ。
「お先に、I'm 総理ィ・・・」

門口泰宣 替え歌『上海帰りのりえ』（「上海帰りのリル」の替え歌です）

夢を見つめていた 花のアイドルでいた 可憐な姿の りえ
イメージチェンジの りえ りえ 甘く切ない眩しいヌード
胸をはだけて探して歩く りえ りえ
何処にぬいだのか りえ 誰かふんどしを知らないか

作品募集中です 皆様のお手紙、投稿を待っています。宛先が代わりました。
宛先〒154 世田谷区深沢7-5-13-305 野本 浩一宛
お間違えの無いようお願い致します。

郵送申込み受付 現在郵送中の方には、戴いた切手のストックが無くなる月に連絡致しておりますが、現在は半年分として62円切手8枚、一年分は同15枚に変更させて頂いております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

—お知らせ—

来年1月の例会は17日に行います。第3金曜日です。
会場は内神田社会教育会館 小集会室
〒101 千代田区内神田2-1-8 千代田区総合体育館7F
☎(03)3256-8447
同巢会ジョークサロンの連絡先が変わりました。
〒154 世田谷区深沢7-5-13-305 ☎(03)7506-6492
野本浩一宅です。宜しく願い致します。

伝笑鳩No.27
発行 1991.12.20
変集鳥 野本浩一
変集協力 曾田英夫／神山徹
小田明子／石井志津夫
横山朝夫／平井幸雄
発行所 同巢会ジョークサロン